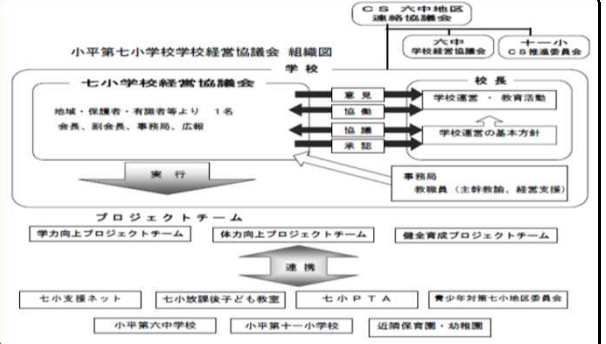


こんな活動です

地域に見守られて育つ子どもたち ～子どもも、大人も、みんなの笑顔がいっぱいの学校～

東京都小平市		●活動名 小平第七小学校コミュニティ・スクール			●関係する学校名 小平市立小平第七小学校		
協働活動開始年度	平成 18 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	22 学級	のべ児童・生徒数	710 人
活動区分	学校支援活動		—		地域人材育成		
	—		放課後子供教室		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—		—		3人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	
	平成26年4月1日指定		—	400人	—	—	
参考URL	http://www.kodaira.ed.jp/07kodaira/						
●連絡先	小平市教育委員会 教育部指導課			☎ 042-346-9572			

体制図



●活動の概要・経緯
本校は、放課後子ども教室や七小支援ネット、青少年対策七小地区委員会等との連携を図り、地域ぐるみで児童の学力向上・体力向上・健全育成等の課題への対応に取り組んでいる。平成26年4月にはコミュニティ・スクールの指定を受け、これまで以上に地域・保護者との連携を充実させつつ、地域とともにある学校づくりに取り組んでいる。
なお、本校の放課後子ども教室は、平成21年度にスタートし、平成29年度は半数を超える児童の登録があり、13教室で300回以上の活動を行った。また、七小支援ネットでは、コーディネーターが中心となりボランティアなど地域人材の確保に当たり、校外学習の見守りや算数の学力向上をはじめとした様々な学習活動に関わっている。ボランティアを活用した学習活動は、年々充実し、現在では学習支援ボランティアの存在は、本校の児童にとって欠かせない存在となっている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①コミュニティ・スクール(CS)・・・学校独自の課題の解決に向けて、学力向上・体力向上・健全育成という3つのプロジェクトチーム(PT)を設置し、具体的な方策について検討している。また、放課後子ども教室や七小支援ネットとも連携し、地域住民や保護者等の協力により様々な取組を実施している。
- ②放課後子ども教室・・・『まなびひろば』では、宿題や用意したプリントを学習することで、学習習慣と基礎学力の定着を目指している。『なないろよさこい』『吹奏楽部』は、地域の行事にも積極的に参加している。その他にも『音楽と遊ぼう』『かがく工作』『おりがみひろば』『けん玉ひろば』『グリーンクラブ』『アートクラブ』『ミニバス』『英語ひろば』など、子供たちの成長に合わせたプログラムを行っている。
- ③七小支援ネット(学校支援活動)・・・安全・図書・環境支援・飼育・学習支援のほか、地域交流の一環として、小平グリーンロード灯りまつの運営支援を行っている。たくさんの方が日々学校を訪れて、七小を中心とした地域の輪はますます広がっている。

【実施に当たっての工夫】

放課後子ども教室では、コーディネーターが中心となり、教室に登録している児童の保護者に対し、年に一度はボランティアに入ってもらおう、年度当初の段階で割り当てを行い円滑な運営を図っている。
CSの活動では、一例として学力向上PTにおいて、放課後子ども教室「まなびひろば」との連携を強化し、担任教員が「まなびひろば」での児童の様子を観察したり、逆に「まなびひろば」のスタッフが授業支援を行うなどの協力体制を築いている。教員とスタッフが、児童の学力向上に関して共通理解を図りながら、課題の解決に向けて取り組むことができている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域住民や保護者など教職員とは異なる視点から学校経営に参画してもらうことで、多様で特色ある教育活動の展開につながっている。コミュニティ・スクールに指定されたことにより、各種のプロジェクト活動などを通して、これまで以上に地域や保護者が学校に関わる機会が増え、学校経営の充実が図られている。
保護者アンケートにおいても、コミュニティ・スクールとして指定されて以降、ボランティアに参加する機会が増え、教育活動への理解が深まっていることが確認されている。また、近隣の中学校と連携することにより、地域の課題についての共通理解が図られ、様々な活動を行うことができるとともに、小・中の教員間の連携も深まり、より有効な情報交換や実践につながっている。

●その他

学校経営方針においても、目指す学校像の一つとして、「地域が学校と共に子どもたちを育てる学校」掲げるなど、地域と学校との連携により子供たちを育てるという明確なビジョンをもっている。その具体的な方策の一つとして、七小支援ネットと連携した地域の教育力の活用などがある。



(まなびひろば
(放課後子ども教室))



73年総合的な学習の時間(七小支援ネット)